

<b>3類型</b>	鈹工業品	<b>通巻番号</b>	4-20-033
<b>地域資源名</b>	伝統的工芸品(九谷焼)	<b>認定日</b>	平成20年12月24日
<b>地域</b>	金沢市、小松市、加賀市、白山市、能美市 川北町、野々市町	<b>所管省庁</b>	経済産業省

## 事業名: 九谷焼の技術を活用した腕時計等の商品開発と販路開拓

組合名: 加賀九谷陶磁器協同組合

所在地: 石川県加賀市伊切町ワ163-1

連絡先: TEL: 0761-74-5437

FAX: 0761-75-3781

### 事業概要(新たな活用の視点)

- ・加賀九谷は、手づくりの「一品モノ」にこだわり、作家の顔が見えるものづくりを重視して活動してきた。
- ・器から新たな分野への展開を目指し、長年培ってきた九谷焼の技術を生かして、1ミリ厚の陶板を加工し、0.1ミリ厚の空間に多色上絵の具を使って加飾した九谷焼の文字盤を使った腕時計を開発した。
- ・今後、新たな商品開発と需要開拓で、業界の意識改革を生み、地域全体の協力体制をつくり、産地の活性化を図る。



【九谷腕時計の一例】

### 売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

#### ◆競争力

- ・色絵磁器を文字盤に採用した腕時計は他に例がなく、手描きの「一品モノ」として、同じものが2つとないことが大きな特徴であり、手づくりによる付加価値を訴求している。

#### ◆市場性

- ・日本の腕時計市場では、20万円以上の高額品が伸びており、50万円以上の購入希望者も8%となっている。
- ・陶磁器愛好者に加えて腕時計マニア層を狙い、男性客を中心に販売を行ったところ、好調な売上実績を得ている。アンケートの結果、女性もの、ペアウォッチ、機械式、名入れなどへのニーズもあり、新たな需要も期待できる。

#### ◆販路

- ・限定生産・販売で完売を目指す計画であり、当初はネット販売と各作家による百貨店等での個展販売を行う。また、事業後年度には、海外展開も計画している。



【ラインナップ(一部)】

### 地域における関係事業者等との連携

- ・文字盤の開発等において石川県九谷焼技術センターの支援を受けるとともに、地元のデザイナー、時計店の協力も受けている。今後、さらに連携を深める計画である。